

### 「なくそう犯罪」 滋賀安全なまちづくり県民大会

全国地域安全運動のより一層効果的な推進を図る目的で、同運動に先立ち、県民大会が開催されます。

期 日 10月4日(土)  
場 所 大津市民会館



この運動を契機に、それぞれの家庭、地域、職場において、犯罪や事故のない安全で安心な高島市について考え、カギかけの励行など個人でできることから取り組みを進めるとともに、地域における自主安全活動にも積極的に参加するようにしましょう。



安全・安心の



地域づくり

## 全国地域安全運動

10月11日(土)～20日(月)

安全で安心な地域社会を実現するため、全国一斉に地域安全運動が実施されます。

#### 【運動の重点】

- ・子どもの犯罪被害防止
- ・住宅を対象とする侵入犯罪の防止
- ・振り込め詐欺の被害防止
- ・自転車、オートバイの盗難防止
- ・万引きの防止

犯罪のない安全な街の実現は、県民共通の願いです。しかし、犯罪の認知件数は依然として高水準にあり、全国的には子どもが被害者となる凶悪事件や、振り込め詐欺の被害が後を絶たないなど、犯罪情勢は厳しいものがあります。一方、高島市においても、各種の犯罪が昼夜を問わず発生しており、誰が犯罪の被害に遭ってもおかしくない情勢となっています。

この運動を契機に、それぞれの家庭、地域、職場において、犯罪や事故のない安全で安心な高島市について考え、カギかけの励行など個人でできることから取り組みを進めるとともに、地域における自主安全活動にも積極的に参加するようにしましょう。

### ★高島市内の交通事故発生状況

#### ●発生状況(累計)

(平成20年7月末現在)

	今年	昨年(同時期)	増減
人身事故発生件数	169件	138件	31件
死者数	4人	1人	3人
傷者数	226人	202人	24人
県内の交通事故死者数	48人	47人	1人

#### ●交通事故の特徴

事故の形態	発生場所
追突 41件 (24.3%)	マキノ 23
出合頭 52件 (30.8%)	今津 35
高齢者(65歳以上) 65件 (38.5%)	朽木 6
	安曇川 39
	高島 19
	新旭 47

発生場所	件数
マキノ	23
今津	35
朽木	6
安曇川	39
高島	19
新旭	47

### 危険な出資話



「100万円預けると3か月ごとに9%の配当が受け取れる」「海外の養殖事業に出資すると1年後には倍になる」など、高配当をうたう業者に多額の金銭を出資したものの「配当金が支払われない」「出資金が返還されない」といった事件が後を絶ちません。

契約当初は、約束どおりに配当金が支払われるため信用してしまい、次々に出資金を増額してしまつて、被害が拡大してしまいます。また、「知人を紹介すれば手数料が入る」というマルチ商法的なシステムで出資者を増やす手法もみられます。

業者からの配当金が滞り、はじめて被害が表面化する傾向にあります。このような状態になると、業者の手元にはほとんど資金が残されておらず、被害の回復が難しいのが実情です。

こういった被害を未然に防ぐには「絶対もうかる」といった言葉に惑わされず、実態のわからないものには手を出さないことが大切です。世の中に「うまい話」はありません。

市民課 市民相談室

☎(25)8125

## 大災害のない地域だと思いませんか

## 備えて 守る

### 9月25日は決して忘れてはならない「安曇川大水害の日」です

昭和28年のこの日、台風13号の影響で大雨となり降り始めからの総雨量が458ミリに達し、安曇川は随所で決壊、死者13人を出す大災害となりました。



この体験を風化させないため、市内の小学校では、安曇川大水害を題材にした紙芝居「恐ろしい台風」を使って学習する予定です。

### 近江・若狭大地震による被害

さらに、昔に遡ると1662年に高島市に過去最大の被害をもたらした近江・若狭大地震があります。

この地震は巳の刻(午前10時～正午)に若狭の日向断層が、そして午の刻(正午～午後2時)に花折断層が連続して活動し、多大な被害をもたらしました。

被害の状況は、現大津市葛川で山体崩壊が起こり、町居村、榎村の2村が埋没し、560人の村人が生き埋めとなり死亡したとされています。また、現大津市坊村では、安曇川がせき止められてできた天然

ダムによって冠水し、家屋は残らず流出したとされています。5月8日頃の京都所司代から幕府への第2報によると、京都の屋敷・町屋の倒壊1,000件、死者200余人、三条大橋破損、五条大橋中ほどから崩落、近江大溝藩の家屋敷の倒壊1,022件、死者30人余りと報告しています。

その他朽木陣屋の一部が倒壊、朽木立斎以下数名が死亡、大津代官所や大名・旗本の蔵屋敷、町屋が倒壊、膳所城では天守閣が傾き、多くのやぐらや石垣が崩壊、彦根城でも石垣が1,000メートルにわたり崩れ、民家1,000軒、死者30人を出したとされています。

(参考文献:1662 寛文近江・若狭地震報告書(中央防災会議))

### 過去の災害を教訓に災害への心構えを

平成20年も大きな地震が東北地方で2件発生したり、局地的な豪雨災害が各地で起こっています。おりしも台風シーズンを迎え、過去の災害を見つめ直し、災害の恐ろしさを再認識するとともに今一度家族そろって災害について考え、万全の備えをしておきましょう。



## 119番 消防です+

### 7月の 火災・救急・救助 件数

( )内は年累計

▼火災	建物火災/0 (5)	車両火災/1 (2)	林野火災/0 (0)	その他火災/0 (5)
▼救急	交通事故/23 (157)	一般負傷/29 (183)	急病/153 (877)	その他/31 (191)
▼救助	火災/1 (6)	交通事故/2 (10)	水難事故/0 (1)	その他/4 (10)

(注)【救急】その他=火災+労働災害+運動競技+加害+自損行為+転院搬送等

## 登山中、もしもの時に!

厳しい暑さの夏も終わり、秋の気配も感じられるようになって、いよいよ行楽のシーズン到来です。昨年、整備された高島トレイルコースは、美しいブナ林などが多く残されており、日本海が眺められることから、市内外からも登山をする人が増えてきました。消防本部では、登山中の事故(病気やけが)で119番をする時に、通報場所(現在地)が分かり、防災ヘリとの連携がスムーズに行えるように、市内の比良山系には40か所のレスキューポイント看板、高島トレイル中央分水嶺には道標上に30か所のポイントプレートを設置しており定期的に実地調査をしています。楽しいはずの登山に悲しい思い出を残さないよう、自分に合ったコースを選び、自分のペースで高島市の美しい自然を満喫しましょう。

